

松山大学法学部学術研究会

演題：リアリスト E・H・カーのユートピア—『平和の条件』を読む—

講師：中村 研一 先生（北海道大学名誉教授）

講演概要

20世紀の知的巨人であるカーは、1940年5月～翌年6月までの間、すなわちイギリスが単独でドイツと戦争をしていた悲観的な極地で執筆した『平和の条件』において、いかなる戦後体制を構築すれば、ヴェルサイユ体制の不安定を再現させず平和秩序の構築につながるかを、世論と政治家に向けて提言した。我が国を代表する国際政治学者である、中村研一先生をお招きして、リアリスト・カーの《実現可能なユートピア構想》をカーが生きた同時代史の文脈を踏まえながら考察したい。この取り組みは、ウクライナやパレスチナで繰り返される蛮行に直面する我々にとり、現況を考える大きな手がかりともなるであろう。

コーディネーター

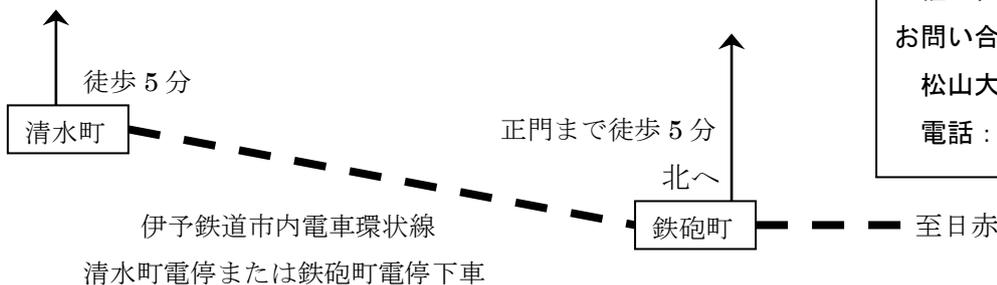
松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

日時：2023年 12月 15日(金)

16:00～17:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 東本館 7階会議室 2



戦後75年の夏「平和」の現在地

北大名誉教授 中村研一さんに聞く



「暴力の戦争離れ」

国際関係

型崩れする戦争 新たな脅威も

北海道新聞提供（2020年8月29日朝刊）

講師：中村 研一 先生の略歴

1948年 神奈川県生まれ

東京大学理学部物理学科卒業、同法学部卒業、
東京大学法学部助手、北海道大学法学部助教授・教授、
副学長、公共政策大学院院長等歴任
著書—『国際政治から「地球政治」へ』（岩波書店）、
『ことばと暴力』（北海道大学出版会）、
訳書—E・H・カー『平和の条件』（岩波書店）
来年刊行予定

主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）